

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-2	・町民と行政の協働による都市環境づくり

	課	係
主管課・係	建設課	都市計画係
	農林課	国土調査係
関係課・係	伊南総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①良好な街並みを形成することにより、活気に満ちたまちづくりを推進する。 ②道路や公園、宅地造成等の面的整備を一体的に実施することにより、土地の利用価値を高め、住みよい市街地形成を図る。 ③地籍の明確化を図ることにより、有効な土地利用を推進する。</p>																																		
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①都市計画道路及び区画道路の整備延伸 ②土地区画整理事業における仮換地指定率の増加 ③国土調査事業における実施区域の増加</p>																																		
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 都市計画道路整備率</td> <td>%</td> <td>43.1</td> <td>45.0</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)</td> <td>%</td> <td>78.1</td> <td>80.0</td> <td>79.6</td> <td>※80.0</td> </tr> <tr> <td>C 国土調査事業進捗率</td> <td>%</td> <td>13.0</td> <td>13.0</td> <td>13.1</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 都市計画道路整備率	%	43.1	45.0	60.0	60.0	B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)	%	78.1	80.0	79.6	※80.0	C 国土調査事業進捗率	%	13.0	13.0	13.1	13.1	D						
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																												
	実績値	目標値		実績値	目標値																														
A 都市計画道路整備率	%	43.1	45.0	60.0	60.0																														
B 土地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)	%	78.1	80.0	79.6	※80.0																														
C 国土調査事業進捗率	%	13.0	13.0	13.1	13.1																														
D																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ② 上回った</td> <td>事業計画の見直しに伴い、都市計画道路の一部の整備について県事業となったことから、実績値が上回った。</td> <td>⑤ その他</td> <td>今後、後原・丹藤線の工事についても、計画どおり着手する予定であるため。</td> </tr> <tr> <td>B ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>換地計画を随時見直しながら、随時権利者の同意獲得に努めて遂行している。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>従前地と仮換地の両方が使えない状況とならないよう、整備年次計画に基づいた仮換地指定としたい。</td> </tr> <tr> <td>C ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>中荒井地区の現地調査を引き続き行う予定である。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ② 上回った	事業計画の見直しに伴い、都市計画道路の一部の整備について県事業となったことから、実績値が上回った。	⑤ その他	今後、後原・丹藤線の工事についても、計画どおり着手する予定であるため。	B ③ ほぼ目標値どおり	換地計画を随時見直しながら、随時権利者の同意獲得に努めて遂行している。	② このままで達成可能	従前地と仮換地の両方が使えない状況とならないよう、整備年次計画に基づいた仮換地指定としたい。	C ③ ほぼ目標値どおり	補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。	② このままで達成可能	中荒井地区の現地調査を引き続き行う予定である。	D				<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>														
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																
A ② 上回った	事業計画の見直しに伴い、都市計画道路の一部の整備について県事業となったことから、実績値が上回った。	⑤ その他	今後、後原・丹藤線の工事についても、計画どおり着手する予定であるため。																																
B ③ ほぼ目標値どおり	換地計画を随時見直しながら、随時権利者の同意獲得に努めて遂行している。	② このままで達成可能	従前地と仮換地の両方が使えない状況とならないよう、整備年次計画に基づいた仮換地指定としたい。																																
C ③ ほぼ目標値どおり	補助金を使いながら、計画どおり事業を遂行している。	② このままで達成可能	中荒井地区の現地調査を引き続き行う予定である。																																
D																																			
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸別訪問による事業説明の実施(土地区画整理事業) ・ビデオを活用した地元説明会の実施(国土調査事業) ・地籍調査推進委員の設置(国土調査事業) 																																		
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利者等の理解が得られるようになってきた。(土地区画整理事業) ・他の事業との兼ね合いもあり、年次計画よりも早期の着手を希望する集落が出てきた。(国土調査事業) 																																		

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸別訪問により、事業に対する不信感や誤解等を払拭することができた。(土地区画整理事業) ・ビデオにより、国土調査事業への理解が深まった。(国土調査事業) ・地籍調査推進委員の協力により、スムーズに事業が遂行している。(国土調査事業)
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何ですか？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利者からの要望や土地の利用状況、地形、用排水状況等に応じて、年次計画を適宜見直す必要がある。(土地区画整理事業) ・全国各地に権利者がいるため、交渉が難航するケースもある。(土地区画整理事業) ・事業に多大な費用を要するため財源の確保が課題となり、事業が長期となる。(土地区画整理事業)

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>事業の長期化は権利者の世代交代等にもつながることから、交渉等が後戻りしないよう、事業の早期完了を目指す必要がある。また、宅地化が進んだことから、大雨の際、流末処理についても不十分であるため、早期に改修する必要がある。</p>								
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:50%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田島バイパス北側の都市計画道路「後原・丹藤線」付近を優先的に整備する。</td> <td>流末側からの整備を図るため、後原・丹藤線付近の整備を優先的に行なう。</td> </tr> <tr> <td>事業に多大な費用を要するため財源の確保に努める。</td> <td>H31に事業計画・実施計画の延長に伴い交付金の見直しを行い、今後、計画的に国の交付金が得られるように努める。</td> </tr> <tr> <td>複数の地区で現地調査が進められる体制づくりに努める。</td> <td>専門的な知識等を有した地元測量会社等への委託を検討する。</td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	田島バイパス北側の都市計画道路「後原・丹藤線」付近を優先的に整備する。	流末側からの整備を図るため、後原・丹藤線付近の整備を優先的に行なう。	事業に多大な費用を要するため財源の確保に努める。	H31に事業計画・実施計画の延長に伴い交付金の見直しを行い、今後、計画的に国の交付金が得られるように努める。	複数の地区で現地調査が進められる体制づくりに努める。	専門的な知識等を有した地元測量会社等への委託を検討する。
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策								
田島バイパス北側の都市計画道路「後原・丹藤線」付近を優先的に整備する。	流末側からの整備を図るため、後原・丹藤線付近の整備を優先的に行なう。								
事業に多大な費用を要するため財源の確保に努める。	H31に事業計画・実施計画の延長に伴い交付金の見直しを行い、今後、計画的に国の交付金が得られるように努める。								
複数の地区で現地調査が進められる体制づくりに努める。	専門的な知識等を有した地元測量会社等への委託を検討する。								

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	国土調査事業	農林課	目的	土地行政の基礎資料作成及び地籍の明確化を図るため。				
			概要	田島地域では、一筆地調査をはじめとする現地調査、各種測量を実施した。また、認証請求後登記所へ成果を送付している。				
			成果	権利の保全・明確化及び課税の適正化の促進が図られ、登記の精度が高まることにより、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に寄与した。				
		国土調査係	問題	町外権利者において、遠方であったり高齢のため現地立会いが難しい。				
			対策	文書・電話等で連絡を行い、地元権利者の代理立会い等をお願いしている。				
			事業費	10,974	6,654	10,123	8,623	-
02	土地区画整理事業	建設課	目的	幹線道路及び区画道路、公園等の公共施設を整備することにより、宅地の利用増進と良好な市街地形成を図るため。				
			概要	道路築造や宅地造成、支障物件の移転等を実施する。				
			成果	施行区域内の面的整備が進み、住環境の改善が図られた。				
		都市計画係	問題	交付金の割当が要望どおりの交付額にならず、計画どおりに事業を進めることが出来ない。また、雨水の排水処理等を考慮し、幹線道路の整備を優先させる必要がある。				
			対策	事業計画及び換地計画の見直しを行いながら、田島バイパス及び後原・丹藤線沿線を優先的に整備したい。				
			事業費	111,143	28,363	119,364	11,764	-
03			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
04			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
05			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			122,117	35,017	129,487	20,387	-	-